

新型コロナウイルスへの企業対応

※2月25日時点の情報を基に暫定的に作成しており、今後の状況の推移により内容は変更される可能性があります。

2020年2月25日

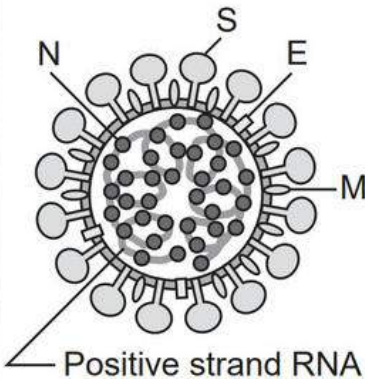
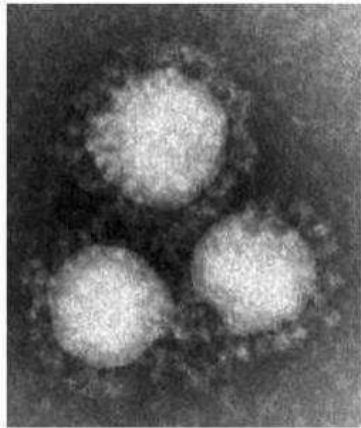
MS & ADインターリスク総研株式会社

瑛得管理諮詢（上海）有限公司 [インターリスク上海]

1. 新型コロナウイルスの概要 (1) 新型コロナウイルスとは

コロナウイルスは、ヒトに蔓延している風邪のウイルス4種類と、動物から感染する重症肺炎ウイルス2種類の合計6種類が知られている。動物から感染するコロナウイルスは、深刻な呼吸器疾患を引き起こすことがある重症急性呼吸器症候群（SARS）、中東呼吸器症候群（MERS）が知られている。
今回の新型コロナウイルスも動物由来とされており、深刻な呼吸器疾患をもたらす例が報告されている。

<コロナウイルス>



出所：国立感染症研究所（NIID）

【限定された宿主からヒトへの感染】



動物との接触で感染



宿主の特定と
接触遮断で対応



濃厚接触でも感染しない



現在

【継続的なヒト-ヒト感染】



動物との接触で感染



どんどん増える可能性

1. 新型コロナウイルスの概要 (2) 過去の類似例との比較

種類	コロナウイルス		
	SARS	MERS	新型コロナウイルス
発生年	2002年	2012年	2019年
主要な感染国	中国、インド、ベトナム、カナダ等	ヨルダン、サウジアラビア、UAE等	中国、タイ、ベトナム、日本等
感染経路	咳などによる飛沫感染や接触感染	咳などによる飛沫感染や接触感染	咳などによる飛沫感染や接触感染
潜伏期	2日~10日	2日~14日	1日~14日
症状	発熱、悪寒、筋肉痛など、突然のインフルエンザ様の症状で発症する。その後、重度の咳、呼吸困難が見られる。	発熱、咳、下痢のほか、呼吸困難、多臓器不全や敗血性ショックが見られる。	代表的な症状として、発熱、咳、呼吸器症状、呼吸困難など。
感染予防策	<飛沫・接触予防策> ・手洗い、うがい、マスク着用、体力や免疫力の増強をはかる、人混みへの外出を控えるなど	<飛沫・接触予防策> ・手洗い、うがい、マスク着用、体力や免疫力の増強をはかる、人混みへの外出を控える、感染地でのヒトコブラクダの接触を避ける、など	<飛沫・接触予防策> ・咳エチケット、手洗い、うがい、アルコール消毒、体力や免疫力の増強をはかる、人混みへの外出を控えるなど
感染力	1人から1人以下（家族間、医療機関内での限定的なヒト-ヒト感染）	1人から1人以下（家族間、医療機関内での限定的なヒト-ヒト感染）	<未確定> ・2.6人 (英インペリアルカレッジロンドン) ・3人超 (米ランカスター大学)
致死率	9.6% (774人/8,096人)	34.4% (858人/2,494人)	<未確定> ・3.1% (2020.1.25時点 中国国家衛生健康委員会) ・2.1% (2002.2.4時点 NHKニュース)
感染者数・日本	なし	なし	あり

出所：国立感染症研究所 (NIID) (<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/414-sars-intro.html>)

厚生労働省 (<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/kekakaku-kansenshou19/mers.html>、等を基に、M S & A D インターリスク総研にて作成

2. これまでの推移（1）

新型コロナウイルスの発生状況等に関する推移は次のとおり。

	中国	日本	WHO
12/12	原因不明の肺炎が武漢で発生 (武漢市衛生健康委員会発表)		
1/1	武漢市が感染源とみられる海鮮市場の閉鎖を決定		
1/9	・原因不明の肺炎は「新型コロナウイルス」によるものと発表 (中国政府) ・初の死者が発生(呼吸不全による心停止)		
1/14			「人から人への感染は確認されていない」との見解を公表
1/16		国内初の感染者が発生(神奈川県 <small>の</small> 30代、武漢への渡航歴あり)	
1/20	「医療従事者や家族間での(限定された)ヒト-ヒト感染が発生している」との見解(中国政府)		
1/21		外務省が、中国全土の感染症危険情報を「レベル1(十分注意)」に引き上げ	
1/22	「ウイルスが変異する可能性があり、さらに伝播する恐れがある」との見解(中国政府)		
1/23	武漢市から市外への市民の流出を禁止(封鎖措置)	外務省が、湖北省を「レベル2(不要不急の渡航中止)」に引き上げ	緊急会合を開催も「国際的に懸念される公衆衛生の緊急事態」の宣言は見送り

2. これまでの推移（2）

	中国	日本	WHO
1/24		外務省が、湖北省を「レベル3（渡航中止勧告）」に引き上げ	
1/25	中国政府が国民に海外渡航の自粛を勧告、海外団体旅行を停止		
1/27	中国政府は春節（旧正月）連休の延長を決定		
1/28	各地方政府は企業に休業の延期を通知	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国内で武漢市への渡航歴のないバス運転手が感染 ・武漢市からの帰国支援のため、政府が民間チャーター機を派遣開始 	
1/29		28日に感染が確認された奈良県の男性が運転していたバスのバスガイドの感染を確認	
1/30	感染者が1万人を突破		
1/31		外務省が、湖北省を除く中国全土を「レベル2（不要不急の渡航中止）」に引き上げ	「国際的に懸念される公衆衛生の緊急事態」を宣言
2/1		湖北省滞在者の入国拒否を決定	
2/3		クルーズ船ダイヤモンド・プリンセスが横浜港に停泊開始 →2/19までに621人に感染者を確認	
2/8	中国の湖北省武漢市で重度の肺炎を発症していた60代の日本人男性が死亡		
2/10	国内の死者が1000人を突破		

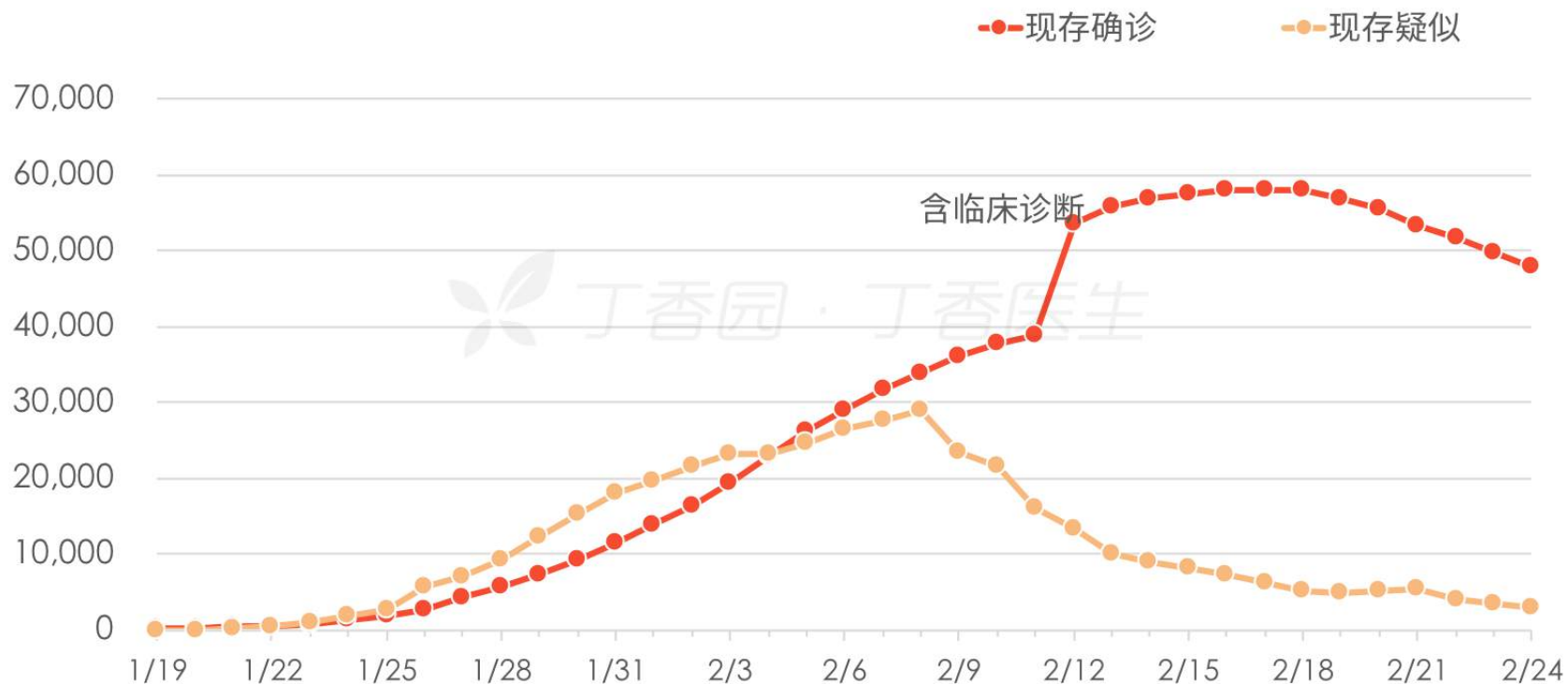
2. これまでの推移（3）

	中国	日本	WHO
2/11			新型コロナウイルスをCOVID-19と命名
2/12		外務省より、在留邦人らに対し「日本への早期の一時帰国や中国への渡航延期を至急ご検討ください」との声明	
2/14		外務省が、浙江省温州市を「レベル3（渡航中止勧告）」に引き上げ	
2/17	3/5より開催予定だった全人代を延期する検討を開始	政府は新型肺炎の受診目安を公表	新型肺炎の致死率は2%と発表
2/18	国内の死者が2000人を突破。国内の感染者数（治癒・死亡者除く）は約5.8万人をピークに減少に転じる。		
2/19		クルーズ船ダイヤモンド・プリンセスからの下船作業が始まる	
2/20		・クルーズ船ダイヤモンド・プリンセスの乗客2名が死亡 ・厚労省、「イベント開催は必要性検討を」との声明	
2/22		クルーズ船下船者より陽性反応（日本2名、豪州1名）	
2/24	全人代の延期を正式決定	政府専門家会議は、「これからの1～2週間が急速な拡大に進むか、収束できるかの瀬戸際」とし、感染予防取組みの強化を要請	
2/25			

3. 中国国内の感染状況__①治癒者・死亡者を除く**現存感染者・感染疑義者**（全国）

感染者は2/17をピークに緩やかながら減少に転じつつある。

全国疫情现存疑似/确诊趋势图

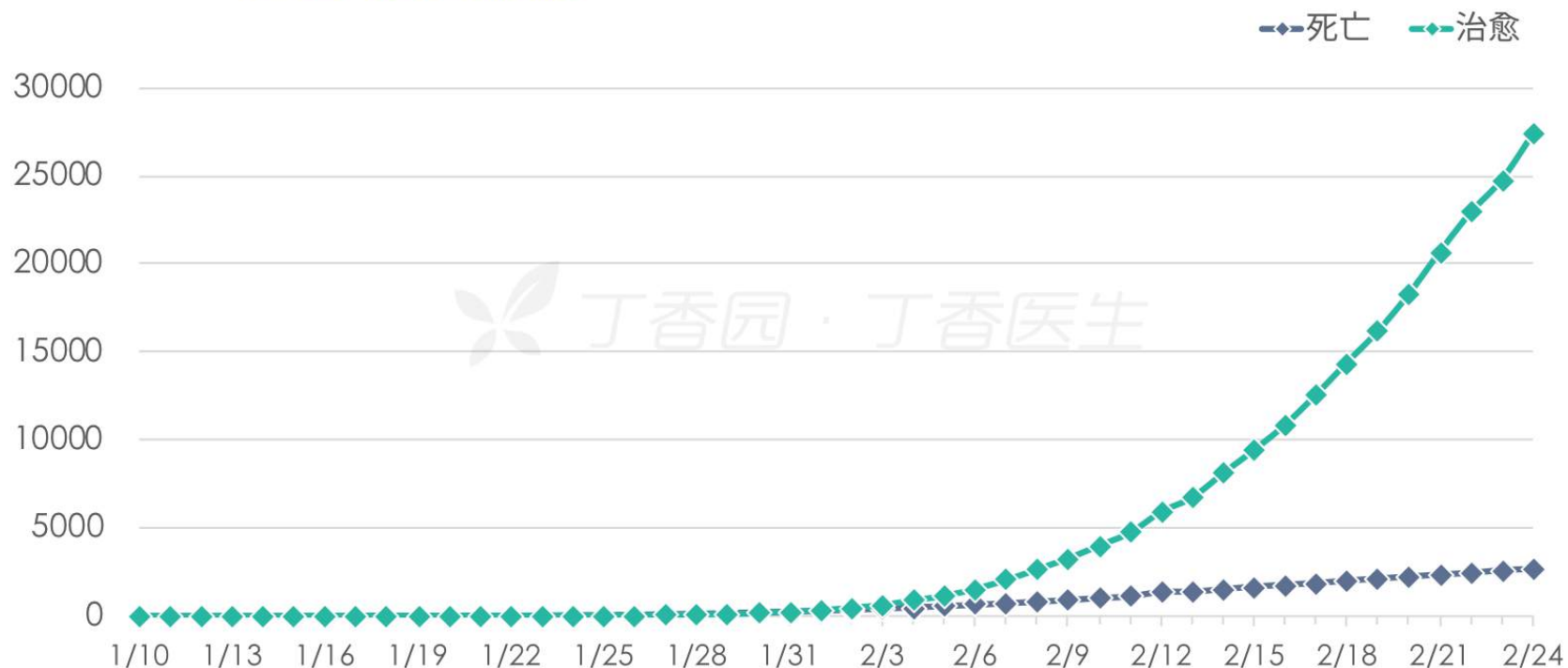


出所：丁香园 丁香医生 新型冠状病毒肺炎 疫情实时动态 (<https://ncov.dxy.cn/ncovh5/view/pneumonia>)

3. 中国国内の感染状況_②死亡者・治癒者（全国）

死亡者の増加は鈍化はやや鈍化傾向にある。一方で治癒者が急増している。

全国疫情死亡/治愈病例趋势图

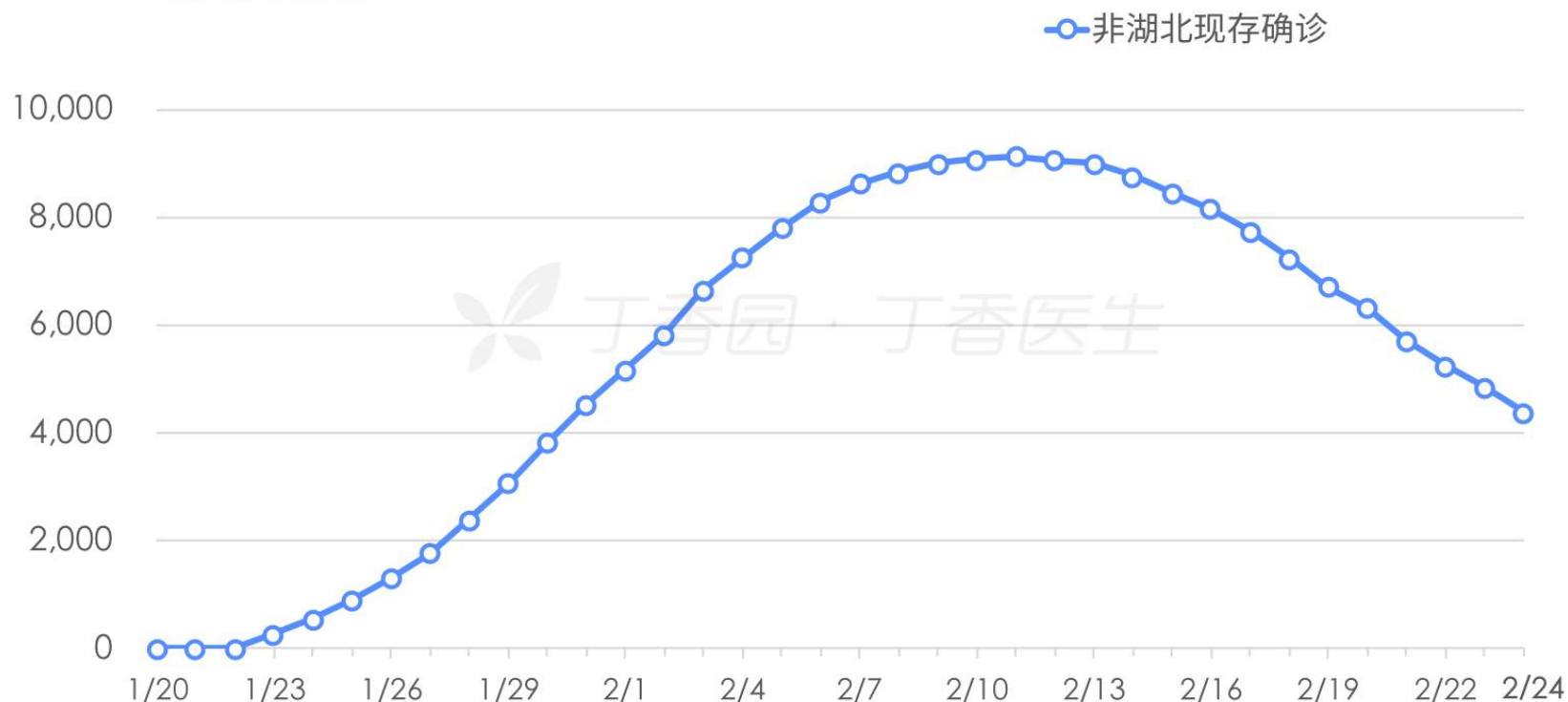


出所：丁香园 丁香医生 新型冠状病毒肺炎 疫情实时动态 (<https://ncov.dxy.cn/ncovh5/view/pneumonia>)

3. 中国国内の感染状況__③ 治癒者・死亡者を除く**現存感染者**（湖北省以外）

湖北省以外の地域では、感染者数は2/12を境に減少に転じている。

非湖北**現存确诊**趋势图



出所：丁香园 丁香医生 新型冠状病毒肺炎 疫情实时动态 (<https://ncov.dxy.cn/ncovh5/view/pneumonia>)

3. 中国国内の感染状況__④ 治癒者・死亡者を除く 現存感染者（湖北省）

湖北省においても、感染者数は2/18を境に減少に転じている。

湖北现存确诊趋势图

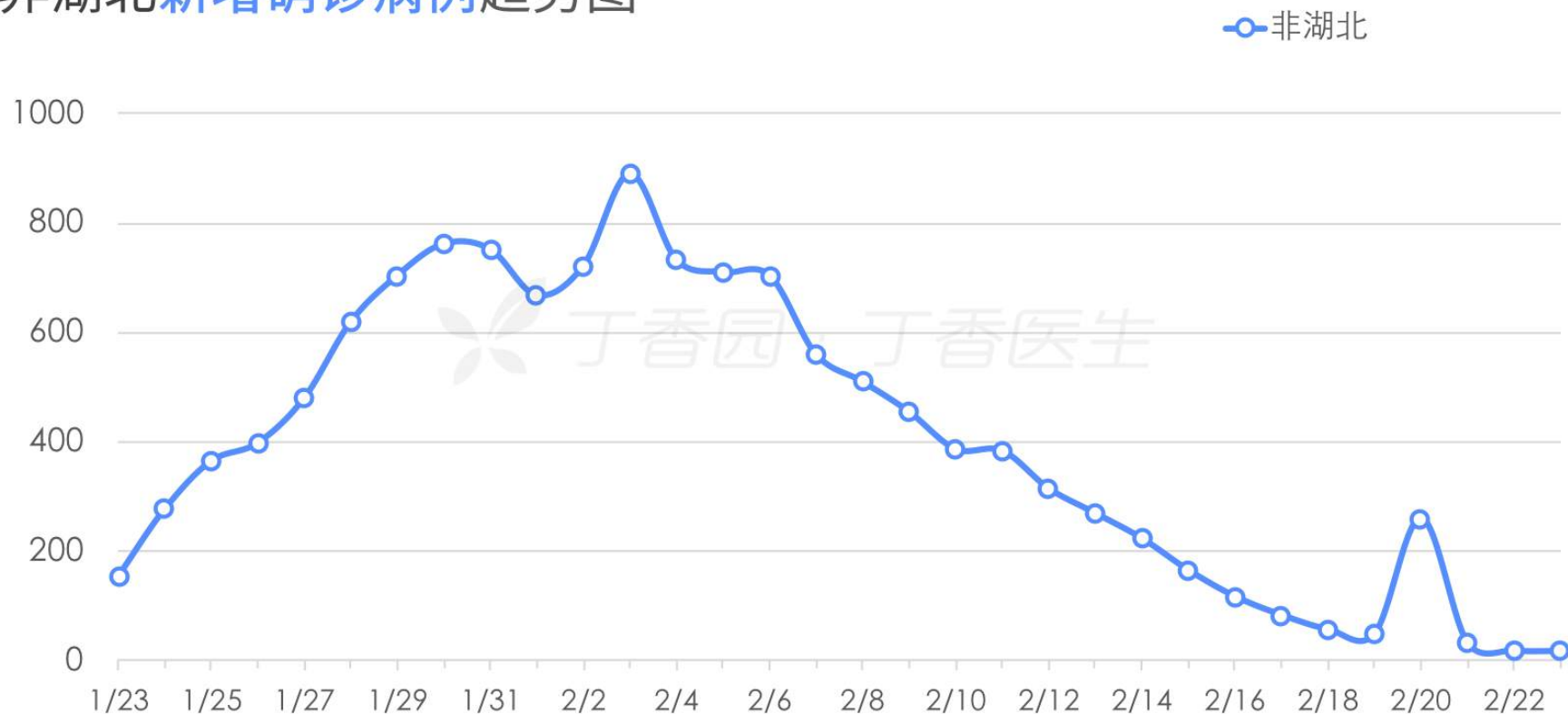


出所：丁香园 丁香医生 新型冠状病毒肺炎 疫情实时动态 (<https://ncov.dxy.cn/ncovh5/view/pneumonia>)

3. 中国国内の感染状況_⑤新規感染者（湖北省以外）

湖北省以外の地域では、新規感染者数は2月3日をピークに減少にし、20名程度の水準まで下がってきている。

非湖北新增确诊病例趋势图



出所：丁香园 丁香医生 新型冠状病毒肺炎 疫情实时动态 (<https://ncov.dxy.cn/ncovh5/view/pneumonia>)

3. 中国国内の感染状況_⑥新規感染者（湖北省）

湖北省でも、新規の感染者は減少傾向にあり、630名程度まで下がってきている。（2/12の急増は臨床診断を導入したため）

湖北新增确诊病例趋势图



出所：丁香园 丁香医生 新型冠状病毒肺炎 疫情实时动态 (<https://ncov.dxy.cn/ncovh5/view/pneumonia>)

4. 日本企業の対応 (1)

報道ベースでの日本企業の対応 (直近数週間) は次のとおり。

報道発表時期	業種	対象	対応	ソース
2/12	A航空機	現地向け	航空機メーカーが、操業停止中の天津市の工場の再開の見通しが立っていないことを発表。	日経
	R情報・通信	国内向け	2月下旬にスペインで開かれる世界最大のモバイル機器見本市への出展を取りやめ。	日経
2/13	M自動車	現地向け	南京の完成車工場を12日に稼働再開としていたが、17日以降に延期すると発表。	日刊工
	D化学	国内向け	新型コロナウイルスへの感染の有無を判定する検査キットの開発を開始。	日刊工
	M化学	国内向け	厚生労働省と国立感染症研究所の依頼で、新型コロナウイルス検査を受託したと発表。	日刊工
	N自動車	国内向け	感染拡大を受け、グループの九州工場の生産休止措置を追加。稼働予定だった15日、22日の生産を取りやめ。	日刊工
2/14	H自動車	現地向け	武漢市の乗用車工場の再開時期を24日以降に延期する方針を発表。	日経
	A民泊	現地向け	米民泊仲介大手が北京市で民泊の仲介業務を、2月7日から4月30日まで一時停止。	日経
	N電気機器	現地向け	中国にある24拠点のうち、3分の2が当局の許可が下りていない為、稼働出来ない状況だと発表。	日刊工
	C業界団体	国内向け	2月末から横浜で開催を予定していた展示会を中止すると発表。	日経
	L情報・通信	国内向け	2021年度より、外務省のアカウントで渡航中止勧告や退避勧告、治安情報といった海外安全情報の配信を開始。	日経
	A航空	国内向け	新型肺炎の影響拡大による需要減退を受けて、日本-中国間の追加減便、連休を発表。発生前の半分の便数に。	日刊工
	N情報・通信	国内向け	協力会社社員の感染を確認。対策本部を設置し、当該拠点の消毒作業を行うとともに、濃厚接触者14名に在宅勤務指示。	テレビ朝日

※国内向けの対応を赤字で記載

4. 日本企業の対応 (2)

報道発表時期	業種	対象	対応	ソース
2/15	K機械	現地向け	中国で調達している部品を日本やベトナムでの生産・調達に切り替えを検討。	日経
	D機械	現地向け	武漢工場の停止が長引けば、マレーシアなどで大型空調機の代替生産を検討。	日経
	T自動車	現地向け	停止している中国の乗用車4工場について、17～18日に3工場で部分的に生産を再開する方針。生産規模は春節前の半分。	日経
	L小売	国内向け	免税店大手Lは、新型肺炎での業績悪化を懸念し、販売専門職や契約社員等の希望退職者160人を募集。	日経
	D情報・通信	国内向け	14日、約6500人の全社員に対し、100人以上が集まる会合への参加や主催することを原則禁止。通勤時間帯の出勤回避も言及。	日経
	Y情報・通信	国内向け	約6500人の全社員に対し、100人以上が集まる会合への参加や主催することを原則禁止。通勤時間帯の出勤を避けることにも言及。	日経
2/16	I団体	国内向け	東京都内で18～19日に開催予定だった世界大会本戦を中止。	日経
	N情報・通信	国内向け	国内最大20万人の従業員を対象に、時差出勤やテレワークを推奨。	日経

4. 日本企業の対応 (3)

報道発表時期	業種	対象	対応	ソース
2/17	N自動車	現地向け	肺炎の影響で停止している中国の4工場のうち、3工場の再開時期を再び延期すると発表。	日経
	K自動車	現地向け	北京で4月21日から開催予定だった世界最大級の自動車展示会が延期されることが決まった。	日経
	K航空	国内向け	17～23日の1週間で関西国際空港を発着する中国本土便612便のうち、約8割の492便が欠航する見通しだと発表。	日経
	Sサービス	国内向け	ネット広告事業を営む当社では、2021年卒の学生の採用選考をすべてオンラインで実施すると発表。	日経
	L情報・通信	国内向け	2～3月に開催するイベントのほとんどを中止または延期すると発表。	日経
	M情報・通信	国内向け	19日に予定していた大学との共同研究に関するシンポジウムの延期を発表。	日経
	T自動車	国内向け	名古屋市内で2月28日に開く予定だった主要仕入れ先を集めた総会の開催を中止する方針を固めた。	日経
	T医薬品	国内向け	国内従業員5200名を対象に、在宅勤務、フレックスタイム制を利用した時差出勤を推奨。	日経
	N電気機器	国内向け	テレワークなどを推奨。人数など具体的な運用は各職場の判断に任せる。	日経

※国内向けの対応を赤字で記載

4. 日本企業の対応（4）

報道発表時期	業種	対象	対応	ソース
2/18	MT自動車	現地向け	湖南省の工場を、27日以降に生産再開すると発表。	日刊工
	M自動車	現地向け	江蘇省の工場が17日に一部生産再開。吉林省の工場はライン改修工事中。	日刊工
	H自動車	現地向け	武漢市の3工場は21日に運営を再開、24日の週に生産再開。広州市の4工場のうち3工場は17日に一部生産再開、残りは20日以降に再開。	日刊工
	N自動車	現地向け	広州市の工場は17日に生産を一部再開。大連工場は21日以降、残りの2工場は24日以降に再開。	日刊工
	T自動車	現地向け	広州市、長春市の2工場は17日に生産を一部再開。広州市の4工場のうち3工場は17日に一部生産再開、残りは20日以降に再開。	日刊工
	S電気機器	国内向け	18日に、本社および一部従業員にテレワークや時差出勤を推奨する通知を発信。	日経
	F電気機器	国内向け	妊娠中または基礎疾患を持つ従業員が出社せずに終日テレワークで業務に従事できる回数の制限を撤廃。	日経
	R人材	国内向け	従業員にテレワークや時差出勤の実施を推奨することを決めた。	日経
	N銀行	国内向け	肺炎の感染拡大を受け、20日に開催を予定していたイベントの中止を発表。	日経
	Nその他金融業	国内向け	肺炎の感染拡大を受け、同グループ主催のセミナーやイベントを当面の間、施設見学の受け入れを原則として中止すると決めた。	日経
	S情報・通信	国内向け	17日から全社員1万7000人を対象に業務に支障のない範囲での時差出勤、100人以上が参加する不要不急な会合の参加自粛を呼びかけ。	日刊工
	K情報・通信	国内向け	18日から対応可能な部署で順次テレワークや時差出勤を始める。	日刊工

※国内向けの対応を赤字で記載

4. 日本企業の対応 (5)

報道発表時期	業種	対象	対応	ソース
2/19	Tガラス・土石製品	国内向け	部品調達に支障があるとして、ウォシュレットや腰掛け式トイレ、キッチンの全商品について、納期遅れの可能性があることを発表。	日経
	M化学	国内向け	肺炎の感染拡大を受けて、20日から国内の従業員に対して展示会など社外のイベントへの参加を原則禁止。	日経
	K公的機関	国内向け	九州各地と中国（香港を除く）を結ぶクルーズ船と航空便のキャンセル状況を発表。クルーズ船は9割、航空便は7割がキャンセルや減便。	日経
	T公的機関	国内向け	19日に東京国際フォーラムで開催予定だった中小企業総合ビジネスフェアが中止になると決定。都内中小企業や支援機関等、271社・団体が出展し、1万人以上の参加を見込んでいた。	日刊工

※国内向けの対応を赤字で記載

4. 日本企業の対応 (6)

報道発表時期	業種	対象	対応	ソース
2/20	N化学	国内向け	長期的な業績への影響が見通せないため、20日に予定していた2020～22年度の中期経営計画の発表を延期。	日経
	O銀行	国内向け	取引先の小規模旅行会社が廃業を決定。同行は、肺炎の影響で売り上げが減少する企業の資金繰り支援のため、新たな融資商品の取り扱いを開始。	日経
	R人材	国内向け	3月に開催予定だった合同企業説明会を中止。 2月に予定していた就活関連のイベントも中止。	日経
	F小売	国内向け	新型肺炎の影響で、一部商品の販売を延期。	日経
	S電気機器	国内向け	15日、16日に都内で開催予定だった就活イベントを中止。	日経
	F小売	国内向け	3月2日開催予定の就活イベントを延期に。	日経
	N保険	国内向け	1000人規模が参加する採用イベントを中止。	日経
	M卸売	国内向け	社内の人を招く大人数のパーティーなどを延期・中止。	日経
	労組	国内向け	3月3日開催予定の春季労使交渉の中央集会を中止。	日経
	政府	国内向け	3月8日開催予定の党大会を無期限延期する方向で調整。	日経
	Nスポーツ連盟	国内向け	3月8日開催予定の名古屋での女性マラソンの一般参加を取りやめ。	日経
	Nスポーツ連盟	国内向け	3月5日からのゴルフ国内ツアー開幕戦を無観客で開催へ。	日経
	Mシネコン	国内向け	休業や営業時間の変更は未だしていない。「厚労省など公的機関からの勧告があれば営業時間短縮や休業の一つの目安になる」と話す。	日経


4. 日本企業の対応 (7)

随時アップデート要

報道発表時期	業種	対象	対応	ソース
2/21	Y自動車部品	現地向け	武漢工場の生産を再開する見込み。	日刊工
	H自動車	現地向け	武漢市にある工場の再開時期を、2月24日以降としていたところ、3月11日以降に遅らせる方針を発表。	日経
	M保険	国内向け	22,23日に東京都内で予定していた就活の学生向けイベントの中止。代替策として、仕事内容を紹介する動画をインターネット配信。	毎日
	M銀行	国内向け	新卒採用に向けた会社説明会を中止し、動画配信に切り替える。	毎日
	S情報・通信	国内向け	3月までに予定していた就活の説明会を見合わせ、応募していた学生には会社説明の動画を配信。	毎日
	R情報・通信	国内向け	2月25日以降の説明会を中止し3月分はネット上のシステムを使って開催する予定	毎日
	M情報・通信	国内向け	東京で勤務する従業員1800人のほとんどを19日から28日まで、原則在宅勤務。	日経
	K精密機器	国内向け	肺炎の感染拡大を受け、BCP体制を発動。15事業部の連絡窓口を明確にし、肺炎に関する情報の伝達を迅速化。	日経
	H自動車	国内向け	21日、3月7、8日に鈴鹿で開催を予定していたモータースポーツイベントを中止。	日経
	Sその他	国内向け	東京多摩市にあるテーマパーク2施設を22日から臨時休刊。再開は3月13日。	日経
	S食品	国内向け	北海道などの3工場での見学を25日から当面中止。再開時期はホームページで通知。	日経
	L食品	国内向け	一般公開している埼玉県にある2工場について、25日から見学者受け入れを休止。	日経
	K食品	国内向け	茨城県などの5工場と都内の見学施設で受け入れを3月2~31日に休止。	日経
M食品	国内向け	年間20万人が来場する全国7カ所の見学施設で中国湖北省、浙江省への渡航歴のある人やその人と接触した人の見学を今月18日から3月末まで休止。	日経	

5. 企業に求められる対応（1）各自の感染予防対応

企業は社員への啓発（職場へのポスター掲示等）、マスクや消毒液の提供を通じて社員各自の対応をサポートする。

感染予防対応	効果
マスクの着用	<ul style="list-style-type: none">・自身の咳・くしゃみ時の飛沫の飛散防止・他人からのウイルス感染を防ぐための一定の予防効果
手洗い・手指消毒	<ul style="list-style-type: none">・流水と石鹸による手洗いは、付着したウイルスを除去し、感染リスクを下げる。・60～80%の濃度のアルコール製剤に触れることによって、ウイルスは死滅する。
うがい	<ul style="list-style-type: none">・口腔内に付着したウイルスを除去し、感染リスクを避ける。
咳エチケット	<ul style="list-style-type: none">・自身の咳・くしゃみ時の飛沫の飛散防止 
対人距離の確保	通常、飛沫はある程度の重さがあるため、発した人から1～2m以内に落下する。つまり2m以上離れている場合は感染するリスクは低下する。（2mルール）

（参考）厚生労働省「事業者・職場における新型インフルエンザ対策 ガイドライン」

(参考①) スマホ消毒の重要性について

ウイルスはツルツルしたところでより長く生存するといわれる。手指と合わせてスマホの消毒もこまめに実施したい。

中国疾病予防控制中心（中国CDC）は2/14の会見で以下の注意喚起を行っている。

- ・頻繁に手を触れるスマホは、ウイルスが付着しやすいため消毒が大切
- ・外出先から帰宅する都度、スマホの消毒を行うべき
- ・スマホの電源を切りしっかり冷却させたあと、適量の75度アルコールで、もしくは除菌ペーパーを用いてスマホの表面を拭き取る。
- ・スマホ消毒後は、手指も清潔に保つ。



※開口部から内部に水分が入らないようご注意ください。アルコールの塗布はスマホ表面のコーティングを劣化させる、除菌ペーパーによる拭き取りはスマホ表面を傷つけるといった見解もあります。スマホの消毒は自身の責任で行ってください。

(参考②) エアロゾル感染

上海市民政局、国家卫生健康委员会は相次いで、飛沫感染や接触感染に加えて、密閉された環境で長時間、高濃度の「エアロゾル（気体中に浮遊する微小な液体または固体の粒子）」にさらされた場合にエアロゾル感染が起きる可能性を指摘した。

■ 厚労省の見解（2月23日時点）

問) 上海市民政局が「エアロゾル感染」の可能性があると発表しましたが、「エアロゾル感染」は起こるのでしょうか？

答) 上海市民政局の説明では、「飛沫が空気中で混ざり合っエアロゾルを形成し、これを吸引して感染する」というもので、空気感染ではなく、飛沫感染に相当すると考えられます。国内の感染状況を見ても空気感染に特徴的な現象は確認されていません。

出典：厚生労働省HP 新型コロナウイルスに関するQ&A（一般の方向け） https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/dengue_fever_qa_00001.html#Q7

■ 中国疾病予防控中心（中国CDC）専門家の見解

- ・エアロゾル感染は、主要な感染ルートとはいえない。感染流行に対する影響は限定的である。
- ・一般的な仕事や生活の条件下では、マスクを確実に着用することにより有効に防護できる。
- ・毎日しっかりと窓を開けて室内の換気を心掛けていただきたい。

出典：环球网 CDC专家吴尊友谈应对气溶胶传播 正确佩戴口罩 每天开窗通风 <https://baijiahao.baidu.com/s?id=1658202424785799906&wfr=spider&for=pc>

5. 企業に求められる対応（2）職場内における感染予防対応

「復工（操業の再開）」を進める上で、職場から一人の感染者も出さないための徹底した感染予防策を行う。

感染予防対応	説明
防疫用品の配備	マスク、消毒液（手指用・室内消毒用）等は必要十分な量を確保する。
健康状態の確認	入館時の検温
2mルール	飛沫感染を防止するため、職場内では対人距離をできるだけ2 m以上確保する。
定期消毒	不特定多数の人が手を触れる可能性が高い場所（ドアノブ、手すり、スイッチ、トイレの流水レバー等）を消毒液を用いて定期的に消毒する。 ※ティッシュや消毒に用いた雑巾は専用の蓋つきゴミ箱に入れる
着座位置	<p>飛沫感染を避けるため職場の着座位置は、他人と対面しないよう工夫する。</p> <p>The diagram illustrates a transition from a full 2x4 grid of chairs to a staggered arrangement. In the original 2x4 grid, all seats are occupied. In the new arrangement, the top row has occupied, empty, occupied, empty seats, and the bottom row has empty, occupied, empty, occupied seats. This ensures that no two people are sitting directly across from each other.</p>
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・会議やイベントの休止・延期（Web会議等で代用） ・外出・出張の休止・延期（同上） ・2人以上での食事の自粛 ・喫煙所での喫煙は自粛

5. 企業に求められる対応（3）その他の事業継続対応

以下のような対応より、自社が実行すべき事業継続対応を取捨選択して実施する。

事業継続対応	説明
健康状態の確認	全社員を対象に、毎日健康状態の確認を行う →本人・同居家族が発熱、体調不良の場合は出社させない。
在宅勤務	<ul style="list-style-type: none">・在宅でもなんとか遂行できる業務を特定し、在宅勤務を行う。・在宅勤務に使用する業務用端末が不足する場合は、追加配備を検討する。・メール、SNS、WEB会議等を活用してコミュニケーションを図る。
通勤方法	混雑する公共交通機関（地下鉄、路線バス等）を避け、マイカー、タクシー、自転車、徒歩等での出社を検討する。
時差出勤	ラッシュアワー時の出退勤を避けるため、出退勤時間を柔軟に運用する。
交替勤務	職場内に人が密集することを避けるため、早番・遅番といった交替勤務を行う。集団感染のリスクを避けるため、各班のメンバーは固定する。（班を跨いで要員を入替しない。）
代替生産 （製造業の場合）	安全な他の工場（委託先を含む）で自社製品の代替生産を行う。

6. 新型コロナウイルスに関する情報収集先

新型コロナウイルスに関する情報収集に役立つリンクは次のとおり。

- ・厚生労働省 新型コロナウイルス感染症について
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html
- ・国立感染症研究所 新型コロナウイルス（2019-nCoV）関連情報ページ
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ka/corona-virus/2019-ncov.html>
- ・東京都感染症情報センター 新型コロナウイルス感染症に関する情報
<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/diseases/2019-ncov/>
- ・日本医師会 新型コロナウイルス関連感染症
http://www.med.or.jp/doctor/kansen/novel_corona/009082.html
- ・首相官邸 新型コロナウイルス感染症に備えて ～一人ひとりができる対策を知っておこう～
<https://www.kantei.go.jp/jp/headline/kansensho/coronavirus.html>
- ・外務省 海外安全ホームページ 中華人民共和国
https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcinfectionsbothazardinfo_009.html#ad-image-0
- ・中華人民共和国国家衛生健康委員会（中国語）
http://www.nhc.gov.cn/xcs/xxgzbd/gzbd_index.shtml
- ・WHO（世界保健機関） Novel coronavirus(2019-nCoV)（英語）
<https://www.who.int/emergencies/diseases/novel-coronavirus-2019>

上記のほか、中国現地法人の所在する各地において、各地方政府機関等のウィーチャットの公衆号（公式アカウント）を確認することをお勧めします。

MS&AD MS&ADインシュアランスグループ

MS & ADインターリスク総研株式会社
リスクマネジメント第4部 BCM第1・第2グループ

〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町2-105
ワテラスアネックス
TEL:03-5296-8976 FAX:03-5296-8941
<https://www.irric.co.jp/>

瑛得管理諮詢（上海）有限公司
（日本語表記インターリスク上海）

上海市浦東新区陸家嘴環路1000号 恒生銀行大廈14樓23室
TEL:+86-(0)21-6841-0611（代表）